

# うきは市社会福祉協議会（福岡県）

## 中間就労の場として内職シェアステーション CoCoConne（こ・こ・こんね）を開設



### 1. 基本情報

企業とのコラボ商品

①自治体・団体名	社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会
②住所等	〒839-1321 うきは市吉井町 347-1 TEL. 0943-76-3977 FAX. 0943-76-4329 <a href="http://www.ukiha-shakyo.or.jp/">http://www.ukiha-shakyo.or.jp/</a>
③圏域の人口、高齢化率	人口：29,890人（H30.7） 高齢化率：32.3%（H29.4）
④生活困窮者自立支援法に基づく事業の実施状況	自立相談支援事業（社協委託） 就労準備支援事業（社協委託） 家計改善支援事業（社協委託） 子どもの学習支援事業（社協委託）
⑤主な事業・活動（④以外）	<ul style="list-style-type: none"><li>・総合相談事業</li><li>・ボランティア活動推進事業</li><li>・ふれあいセンター、地区自治協議会福祉部活動の支援・助成</li><li>・小地域ネットワーク活動推進事業</li><li>・移送サービス支援事業（市補助事業）</li><li>・福祉サービス利用援助事業（市補助事業）</li><li>・不登校・ひきこもり対策相談支援事業（市受託事業）</li><li>・障害者相談支援事業（市受託事業）</li><li>・生活福祉資金貸付事業</li><li>・介護サービス事業</li><li>・高齢者等住まい・生活支援モデル事業（市受託事業）</li></ul>

### 2. 取り組みの経緯・背景

- ・平成26年度より生活困窮者自立支援事業のモデル指定を受け、当初から自立相談、家計相談、就労準備支援、学習支援の4事業を実施。
- ・また、これに先立ち平成22年度から不登校・ひきこもり対策相談支援事業を実施し、働きたいけど働けないという悩みや不安に向き合ってきた。

- ・不登校・ひきこもりや生活困窮者自立支援の相談を通して、誰でも気軽に来所でき、就労への体験活動や職場との接点を持てる、さらには生活習慣の確立が可能となる場所の設定が必要を感じ、継続性が高く、個人の能力差や状態に合わせられる仕事として内職を検討することになった。
- ・担当職員が市内外のさまざまな会社に営業に周り、事業の説明・内職の提供を打診、依頼を進めた。
- ・平成25年度より「内職シェアステーション CoCoConne（こ・こ・こんね）」を開設。

### 3. 取り組み概要・実施体制

内職シェアステーション CoCoConne（こ・こ・こんね）

<目的>

- ・色々な生活のしづらさを抱え、経済的な問題などもあり地域との関わりが希薄になっている方々に“内職”と“集まれる場所”を提供することで以下のようない効果を目指している。
  - ①内職を通して他人との接点づくりをおこなう。
  - ②本格的な就職までの助走期間として仕事に慣れる。
  - ③他人と協力・分業して効率的に仕事を進める訓練をする。
  - ④仕事に慣れていない者にも、短時間でも仕事に関われるチャンスを広げる。
  - ⑤仕事のシェアによって、個人責任負担を軽減する。
  - ⑥仕事の熟練経過を観察評価し、本格的な就職に結びつける材料にする。
  - ⑦わずかかもしれないけれど自分で稼いだ賃金がもらえる

<対象者（例）>

- ・再就職を希望しているがなかなか仕事が見つからない方
- ・外国から来られ一般就労が難しく、知り合いも少なく孤立しがちな方
- ・生活保護受給中で仕事を探している方
- ・障害児の家族で時間が制約される方
- ・刑務所から出所してきた方
- ・ひきこもりだった方
- ・軽度知的障害や発達障害の方 など

<内容>

- ・就労に向けたプレ就労
  - ①ゴム製品のバリ取り
  - ②製麺所より出荷した麺の計量・袋詰め、コラボ商品（自立ラーメン「まえむき」等のオリジナル商品）の販売・試食対応
  - ③野菜の袋詰め（不定期）
- ・就労への準備活動
  - ①履歴書・面接準備・面接後のフォロー
  - ・就職先開拓（JA・行政との共同活動、無料職業紹介所との連携、独自開拓）
  - ・就職後のフォローアップ（企業・当事者）
  - ・生活支援（他事業との共同）

## 4. 成果と今後の課題

- ・企業への納品の際には実際に作業した当事者も同行し、納品した製品への評価や指導を直接企業の担当者から受ける機会を作ったり、製麺所とのコラボ商品開発で働くことへのモチベーションを高めたりするなど、内職シェアステーションに参加するだけでなく、就職に向けて参加者が次のステップへと踏み出すための環境づくりに取り組んでいる。
- ・社協の事務所で内職ができるため、まずは参加するハードルを下げることができている。また、企業側としても社協が受け皿となっていることで安心感があると評価されている。
- ・内職提供企業との接点を多くし、徐々に信頼を得てきた事が実を結び、現在までに就労体験の場として提供や、実際にパート・アルバイトとして就職するなど成果が出てきている。

### <事業の特性>

- ・中間就労の場を外ではなく、社協で作り、生活状況や社会性などを育む。
- ・当事者が参加できるハードルでの環境設定からゆるやかにステップアップ。
- ・作業状況の説明、当事者の状況を事業者側への見える形で提示。
- ・事業所側の強み、当事業及び社協の強みを共有する。
- ・うきは市の産業とマッチングすることで更なる発展への期待も。